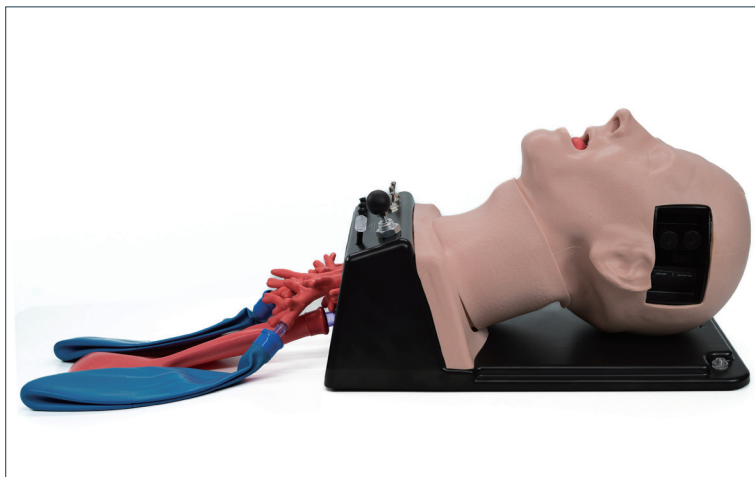


530082 AirSim Difficult Airway Bronchi User Guide

エアシム ディフィカルト エアウェイ
ブロンコ ユーザーガイド



Difficult 症例

- 痙攣による気道閉塞
- 舌を腫らした巨舌症
- 喉頭変位による声帯視認性低下
- 口の開きを制限した開口障害（咬症）
- 下顎前突や過蓋咬合などの不正咬合
- 頸椎可動域を制限した頸椎関節症

推奨使用器具サイズ

- 経鼻挿管：7.0～7.5mm
- 経口挿管：8.0～9.0mm
- ラリントマスク サイズ：3～5
- 他の声門上器具についても同様のサイズ
- 気管支鏡：35～37Fr

習得できる手技

- スニッフィングポジションの確認
- 経口・経鼻気管挿管
- バッグマスク換気
- 喉頭鏡・ファイバー喉頭鏡の使用
- コンビチューブ挿入
- 経口・経鼻ファイバースコープ検査
- 輪状甲状間膜穿刺・切開
- 経皮的気管切開術
- 気管支鏡検査
- 分離肺換気と肺吸引技術

商品構成

- AIRSIM ディフィカルト エアウェイ ブロンコ
 - 水性潤滑剤
 - 新ネックスキン × 1*
 - 吸着シール
 - 一体型交換用喉頭 × 5*
 - キャリーケース
- * 消耗品は各 1 個本体装着済

ご使用になる前に

- マネキン本体は、本体底面の吸盤でしっかりと固定してください。（吸着面の固定が不十分な場合は、付属の吸着シール吸盤に取り付け可能です。吸盤の吸着力が低下したり、変形した際、吸盤を湯煎することで復元可能です。）
- 頭部が正しいポジションにあるか確認してください。マネキン頭部は展退させることでスニッフィングポジションができ、その状態を保持できる構造になっています。
- 舌の空気圧が十分であることを確認してください。ベース部のコネクタにシリンジを装着して加減圧の調整を行うことで、挿管の難易度を任意に設定できます。
- 肺バッグや胃バッグが気道、食道に取り付けられているか確認してください。
- ご使用前には、必ず挿管器具や気道部分に付属の潤滑剤を十分に塗布してください。手技中のデバイスによる損傷が軽減されます。

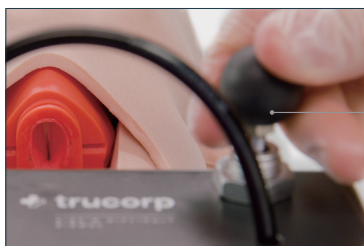
NLS 日本ライトサービス株式会社
Nihon Light Service, Inc.

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1

☎ 03-3815-2354 ☎ 03-3818-6843 ✉ igaku@nlsinc.co.jp 🌐 www.medical-sim.jp

喉頭痙攣 (Laryngospasm) / 喉頭変位 (Displaced Larynx) / 巨舌症 (Tongue Edema)

1. 手技のスイッチを「ON」にし、送気チューブを引き出してスイッチ下部のコネクタに取り付けます。



2. ノブを上下し適量まで送気してください。喉頭痙攣では3回まで、それ以外は適宜調節を行ってください。



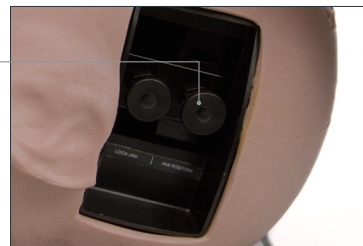
3. ご使用後は必ずスイッチを「OFF」にし、脱気を行ってください。加圧状態での保管は故障原因となります。

開口障害 (Lock Jaw : ON・OFF) / 下顎後退・突出 (Jaw Position : 4段階)

1. 調節は側頭部で行います。調節用ピンは開口障害(Lock Jaw: 左側)と下顎後退・突出 (Jaw Position: 右側)と2つあります。



2. ピンを手前に引き、そのまま90°程度回すとロックが解除された状態となります。



3. (JAW Position) 任意の位置でノブの解除を戻し固定します。(Lock Jaw) 手でモデルの顎を閉じるとクリック音とともに顎の開閉がロックされ開口が制限されます。

頸椎関節症

1. 頸部を固定し頭部後屈できない状態にロックできます。マネキンの後頭部にある可動式レバーをスライドさせ調節します。



消耗品の交換

1. 喉頭と頸部スキンは交換が可能です。喉頭は交換用喉頭と本体固定部の4か所の凹凸が隙間なく合っていることを確認して下さい。



お手入れとメンテナンスについて

- 清潔で乾燥した場所に、熱及び直射日光を避けて保管してください。金属、溶剤、油及び強力洗剤との接触は避けてください。またご使用になられないときは、収納用キャリーケースに入れて保管をしてください。
- AIRSIM シリーズの気管部分は温水で洗うことができます。中性洗剤又は酵素洗剤も各メーカーの使用上の注意に基づき、規定希釈に限り使用できます。洗剤は、肌や粘膜に刺激のないものを使用してください。
- 本製品を洗浄する際、グルタラルアルデヒド (Cidex など)、エチレンオキシド、フェノール系洗剤及びヨウ素を含む殺菌剤、消毒液、化学薬品は使用しないでください。それらの物質は本製品の素材が吸収しやすいため、使用者の人体に危害を及ぼすおそれがあり、製品の劣化の原因にもなりますので絶対に使用しないでください。万一、上記のいずれかの物質を使用した場合、本製品の使用を直ちに止めてください。
- 付属の吸盤が吸着しにくくなった場合は吸盤を本体から取り外し、湯煎に付けることで変形した形状はある程度復元します。吸盤の表面に付着した油分、埃や被吸着物側 (デスクなど) の汚れも吸着力の低下原因となります。
- COVID-19の大流行を受け、製品が完全に除菌されていることを確認するために以下手順を推奨しています。アルコールスプレー (75%以上) を使用し、汚れを拭き取ってください。3~4回繰り返すことでウイルスを完全に死滅させることができます。